

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ふれあいの家		
2 指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）		
4 施設の利用状況	《利用者数》		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度 6,691人（前年比 101.7%） ・ 令和元年度 6,579人（前年比 97.7%） ・ 平成30年度 6,734人（前年比 107.1%） 		
5 収支の状況	《事業》		
	主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援及び社会生活に必要な訓練を行うことで、福祉の増進や社会参加の促進を図る。		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 53,212千円 (48,867千円) ・ その他市が負担した費用 55,897千円 (4,803千円) 		
6 利用者の声	《収入》		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 50,440千円 (47,306千円) ・ その他収入 49,004千円 (4,620千円) 		
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケートを令和3年2月に市で、同3月に施設運営法人で実施したほか、施設と就労継続支援B型の利用者による利用者運営委員会の実施（年1回）、保護者会と合同での保護者対象アンケート調査の実施（令和2年10月）。		

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p> <p>他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいたため当年度に長寿命化工事を行い、利便性の向上も含め設備面等での改善を図ったが、利用者の意見はもちろん施設の職員からも積極的な意見を出してもらい、工事に反映することができた。</p> <p>当年度は、期間の半分程が長寿命化工事に伴う仮移転先での運営となったが、仮移転先においても、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃などを丁寧に行い、安全・安心に努めた。</p> <p>また、感染症対策で小まめな手洗いや換気をしながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。</p> <p>また、施設と利用者による委員会を継続して開催したほか定期的な保護者会への参加については感染症対策により形式を工夫しながら、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。</p> <p>利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。</p>	28/28

V 施設固有の基準	指定管理施設としての基準を遵守しながら、利用者の障害特性を適切に把握し、支援の充実に努めている。 利用者のニーズに応じたサービスを提供しつつ質の向上を図る取組みを行っているほか、生産活動の機会の提供についても工賃増額に向けた取組みに努めている。	8/8
------------------	---	------------

三 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>当施設では、利用者の個性やニーズ、特性を踏まえた個別支援計画に基づいて適切なサービスの提供に努めるとともに、関係機関と連携しながら支援メニューの改善・拡充に取り組んだ結果、さらに積極的に活動に参加されるなど、一定の成果を得ることができた。</p> <p>今年度は施設の長寿命化工事が実施され、約半年間、代替施設での運営を余儀なくされたが、仙台市と連携しながら、保護者の理解・協力のもと、事故や混乱等無く、また元の施設でサービスを再開することができた。</p> <p>利用者支援については、個別支援計画書に則った支援を提供し、月間支援会議等において職員各々が意見を出し合い、支援状況やサービス内容等についてケース毎に丁寧に検討を行った。そして、利用者個々の目標や達成状況を日々確認しながら、毎日の活動終了時に、利用者とその日の活動内容について個別に振り返りを行い、評価・共有する取組みを継続するなど、質の高いサービスの提供に努めた。</p> <p>工賃増額に向けた取組みとしては、継続的に紙器会社から作業を受注するとともに、仙台市職員を販売対象としたふれあい製品デリバリーや仙台市より紹介のあったデニムマスク製品販売に参加するなど収入の確保に努めた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による受注作業減少の影響は大きく、結果的に工賃の増額には至らなかった。一方で、新たな業者との受注に向けた交渉を行うなど、今後に向けた取組みを積極的に行った。</p> <p>地域との関わりとしては、予定していた近隣の小学校児童との交流事業等が感染症拡大により中止となったが、移転期間中に代替施設の近隣住民との交流を可能な範囲で図るなど、障害者福祉への理解促進に努めた。</p> <p>家族支援については、保護者会と合同での研修会は中止したが、保護者の関心事等についてのアンケートを実施し、その結果を共有するとともに、次回研修時に活用することとした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズを基に支援計画を作成し、利用者の状態に合わせた適切なサービス提供が行われている。また、長寿命化工事及びそれに伴う仮移転にあっても、円滑かつ積極的に関わり、安全・安心のもと無事工事を完成することができた。生産活動の機会の提供についても、感染症対策により従前のように活動ができないなか、工夫や機会を的確に捉えながら工賃増額に向けた取組みに努めている。</p> <p>他の施設等と継続して連携しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課